

# 磐城時報

編輯兼發行所 田中 弘成  
印刷所 加藤 活版所  
電話 二四一  
廣告料 一行十四字 一月五拾錢  
訂費 一月一元 三月三元 半年五元 一年九元  
日刊 (日曜、祭日、休刊)

## 平町各小學校 けふ晴れの卒業式 曾我校長の告辭

平町各小學校の修卒業式は二十四日午前九時から舉行されたが優等賞を授與された児童第一校二百三十四名、第二校二百四十二名、第三校百五十三名、進歩賞第一校五十六名、第二校七十八名、第三校四十六名、一ヶ年會我第一小學校長の卒業生に對し、曾我校長の告辭を左の如し。

諸子は、雪の功成り本日、茲に高等科卒業の榮譽を荷ふ、洵に祝福に堪えざるなり。然りと雖、今や時代は單に此の卒業のみを以て満足するを許さず、進んで上級の學校に入る人は益々其の研鑽に努むべく、退く人は先づ第一に職業の撰擇を誤らざるべく、進みて普通

- ▲第一小學校
  - 蛭田 忠吾 眞田 芳信
  - 渡邊 久信 江尻才次郎
  - 岩崎久治郎 齋藤 敏夫
  - 新妻 重男 萩原 茂人
  - 小林 正久 河野 和乎
  - 鈴木 保司 湊 紀明
  - 鈴木 莊一郎
- ▲八ヶ年精勤児童
  - 伊藤 元一 鈴木又五郎
  - 有賀 正幸 生田目新吾
- ▲平第二小學校
  - 坂本 ヤエ 飯塚 テフ
  - 笠原 スミ 中野 クニ
  - 花澤 ツヤ 中村 春子
  - 伊藤 ハルヨ 馬目 富代
  - 格和 京子 木田カヲ
  - 芹澤 節子 岡田登喜子
  - 八箇年精勤児童 井嚙 國子

## 石城郡の優良児童 教育部會賞を受ける

石城郡各小學校卒業式に於て優等生として石城郡教育部會から表彰される児童左の如くである

- ▲平第一校 志賀純一 根本 忠雄 名尾卓郎 寺門友巳 齋藤武男 ▲山川 箱崎惠三 ▲山田 大平泰介 ▲鈴木四郎 ▲佐野光雄 ▲鈴木信子 ▲草野キヨ ▲草谷直喜 ▲合戸 合津一司 ▲上三阪 富澤保一 ▲差益
- ▲熊谷壽太郎 ▲草野大平芳弘 ▲鈴木チエ 新妻馨 松崎ヨシ ▲湯本校 安孫子貞男 立花 キミ 小野ヒデ 柳沼高保 ▲吉井貞一 川又公子 齋藤總子 ▲好間 木田三三子 ▲磐崎第二 瀧有美子 ▲内郷 尋高 添田將 齋藤彦藏 水山シヅ 鈴木金男 川上正義 ▲山崎傳 工藤房子 長塚キミ ▲飯野伊藤茂 波沙英勝

### 満洲國建國で ナマコが賣れる

小名濱で出漁準備

石城漁業界の新しい漁獲物と期待されてゐた小名濱のナマコ漁業は一昨年の満洲事變で唯一の需要地支那に賣れなくなつたため七年度の漁獲高は七千圓に減じ非觀状態にあつたが、滿洲國と共に同國への取引が行はれる事となつたの漁業者達は四月下旬から出漁すべく準備を急いでゐる。

- ▲内郷三松崎一吉 江連了 兒 泉已代次 ▲錦 鈴木正 高木マサ 鴨浪雄 ▲田人青 田敏子 立子山はなの 緑川 ヨフ 庄司敏政 鈴木真一 蛭田安男 ▲勿來金賀五郎 ▲神谷荒川清一郎 須藤エイ 八幡ユキ子 ▲植田北郷 繁 國安チヨ 小野清一 都 甲弘 大平孝子 ▲内郷第一 吉田豊司 ▲夏井鈴木司郎 大平卓 ▲大浦野木孝司 根本タミ 賀澤儀四郎 古市トキ ▲江名坂本義雄 新妻茂 吉田親子 ▲箕輪吉田留恵子 ▲平第三田中榮太郎 橋ソミ ▲平第二熊トトリ子 阿部トシ 田登美子 ▲中三坂山廣美 ▲川前永山徳美 ▲下三坂白石サカヲ 永山浩一 ▲鹿邊 佐藤元弘 江尻秋男 ▲渡邊 小野イト 高木安 ▲川部芳賀操 蛭田丈夫 後藤マサエ ▲赤井第二松崎良任 松本カネ 鈴木ナカ子 ▲磐崎尋枝丹野敬三 諏郷勇 瀧福子 ▲磐崎第一星清 野木ヨシ子
- ▲大野會 平 久野千代子 草野アサ ▲上遠野鈴木光治 永瀬智子 楠田いく子 蛭田 隆雄 ▲泉阿部新平 吉田禎子 川瀬清光 新妻壽子 澤渡草野和 三瓶彦松 熊谷 五郎 ▲小名濱比佐信吉 馬目隆輝 野崎ヨシ 草野欣子 大高寛 馬上キク ▲小川白石長兵衛 植野シズエ 猪狩 守 ▲豊間遠藤正壽 遠藤糸一男 松島精 高荒スエ子 石井喜久 渡邊信勝 本間政男 安部ハツセ ▲入遠野根本正元 鈴木ヨシコ 平子大八郎 ▲四倉橋本光雄 鈴木 延枝 宮澤光伸 岡田優 新妻アイ ▲平窪鈴木安子 福木光雄 ▲平窪高青天目光 木村タマ ▲松山政一 鈴木友意 秋田元都 ▲入山阿部豊司 伊藤清 堀エマ ▲高久猪狩トミ子 箱崎高夫 ▲赤井第一高萩トミ子 ▲桶賣木村文太郎 ▲内郷第二佐藤信一 鈴木茂男 羽羽静江 ▲大野第二佐藤範文

### 産婆看護婦の受験者 昨年の約二倍に達す

縣產婆看護婦試験は四月福島市豫算を附議、新事業として八月に行はれるので平署でも志願者中祭式講習會を開く事に決、定の願書を受付けてゐたが二十日支部長改選の結果吉田定吉氏當の締切までに看護婦二百六十名選した。例年に産婆二百十名に達した。例年に比べると四割の増加である。

### 平水道委員會

水道委員會は二十四日午前十時から開き據張工事材料殘品整理打合せをなし午後から上野原貯水池に出張現品整理をなした。

### 平町で總會

縣牛乳協會では四月十八日午前十時から平署會議室で總會を開催するが、縣から渡警務部長、衛生課長臨席、出席者百五十名、總會後松ヶ岡公園で觀櫻會を開く。

### 回春園視察

逓信省囑托東北帝大講師醫學博士山口友幸氏は仙臺逓信局保險課菊地永太郎氏は結核療養施設視察のため二十六日豊間村縣立回春園を視察する。

### 四倉町で 納税表彰式

四倉町では二十九日午前十時より小學校に於て昭和六年度優良納税者表彰式を行ふが、表彰人員は組合二十七組二百八十六名その他百九十七名合計四百八十三名で、昨年度よりは三十一名の減である。五ヶ年、十ヶ年勤續の組合長十五名には紀念品を贈る。

### 滞納整理

四倉町役場では年度末を控えて滞納税の整理を行ふため二百三十三名に對し差押え處分をなしたが三十一日から四月五日まで六日間入札により公賣することになった。

### 無盡協會總會

縣無盡協會總會は四月六日午前十時から湯本町湯本信用無盡會社樓上に開き七年度決算、八年度豫算を附議する。

### 美術學校に入學

平町北目町磐城中學三十二回卒業生鈴木新夫君は今回帝國美術學校師範科入學試験に合格した。

### 神職會總會

神職會石城支部總會は二十二日午後一時から平町扇屋旅館に開き八年度

### 藤田女學校生徒募集

- 一、本科 (二ヶ年卒業) 五十名
  - 二、裁縫專修科 (二ヶ年卒業) 百名
  - 三、師範科 (二ヶ年卒業) 三十名
  - 四、專攻科 (一ヶ年卒業) 二十名
  - 五、本科專修科 (二年缺補編入) 若干名
  - 六、選科 若干名
- 右希望者ハ三月卅日迄願書提出ノコト  
詳細ハ本校宛學則請求セラルヘシ  
昭和八年三月

文部大臣 認可  
福島縣平町田町  
藤田女學校  
電話三二八番

### 磐城名物...糯米製

# もち米

進物用 全ボール函入(小函)二十錢 纏入 五十錢  
(大函)三十錢 全 壹圓  
本品ハ消化吸収順ルヨク病人、産婦、老人、幼児ニ  
好適ナル食物タルハ勿論ビクニツク、運動、旅行等  
ニテ疲勞ノ際之ヲ食スレバ勿チニ元氣回復スル事妙  
ナリ。

平町字二丁目

北海屋製菓部

電話三八八番

### 兒園募集

- 一、募集兒 六拾名
  - 一、規則書 希望者は當園に申込れたし
  - 一、入園期 四月五日
- 平町材木町  
平信榮幼稚園

### 秘傳腫物湯

のんで効く  
はれ物の妙薬  
主一、面疔、よう乳の腫れ、指のはれ、林巴腺の腫れ  
効一、耳鼻のおでま、骨膜炎、筋炎、はれ物手術の前  
後、等よし  
◎特にかほのおでま、乳のはれは切らずに治り醜  
痕を殘さず美容上最適の治療劑なり  
定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢  
特約店 平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店  
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店  
湯本町 岩瀬屋藥店  
腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野 健生堂

### 耳鼻喉科専門

平町田町七十番地  
山内醫院  
醫學士 山内亨吉  
入院隨意 病室完備  
電話六九一番



山崎合名會社

電話(營業部専用)一〇番  
(一般用)二七番  
振替東京一九七五五番

### 吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番  
明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

急夜 湯  
皮膚病 婦人病 淋病 十二指 腸胃病 胃性病  
専門 院醫科  
【番七〇一話電】

藤沼醫院  
電話五〇七番

木村病院  
電話一六四番

上田外科醫院  
電話一二九番

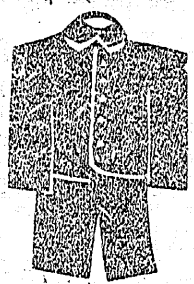


### 通學生用品

- 御入學ノ準備
- ガ出來マシタカ...
- 藥店選定ノ自信アル
- 製品ヲ山積シテ皆様ヲ
- オ待シテ居リマス...

ツルヤ  
電一四〇

### 通學服大賣出し



新學期も近づいて参りました。  
坊ちやま。嬢ちやまの可愛らしい  
通學服を色々取揃いて御座います。

- ◆男兒用  
小倉服.....80  
特製.....1.90  
紺サージ.....3.60
- ◆女兒用  
紺サージセラー服 3.60  
綿セルセラー.....1.80



防水マントも種々取揃へて  
御座います。

ふかや洋服店 平三 電203

# 折詰生造

お惣菜用 平町一丁目  
さつま揚 吉原揚  
電話一四一番